

未来医療における倫理性 ～人間科学特別講義～

9月20日（金）の5・6限に、人間科学の特別講義が行われました。講師は福井大学医学部の中本教授で、「未来医療における倫理性」というタイトルで講義をしてくださいました。以下に生徒の感想を紹介します。



私は今回の講義を聞いて、近年の科学技術の急激な発展に大変驚かされました。肺炎治療やがん治療などの様々な病気の治療において、ほんの数年前まではわからなかったことが、今では詳細な部分まで知ることができるようになって、さらにすぐに治療に役立つということに非常に感心しました。それと同時に、がん細胞はどのような遺伝子によって生まれてくるのかということなど、高度に医療技術が発達しているにも関わらず、まだまだ発見されていない情報があることにも驚きました。技術の進化が研究を支えるという言葉にも納得できましたし、チーム医療という近年よく耳にする言葉も、チームというのは医者だけのことではなく、さらにその後ろで支えている技術者や開発者のことも含めているものなのだと理解することができました。

私は、生命倫理、医療倫理というものは、医療技術の発展に必ず付きまとう問題であると思います。現在治療することが出来ない病気に対しては、新しい医療技術が必要であり、その技術を確立させていくには、やはり犠牲が必要なのではないかと考えます。しかし、むやみやたらに動物の命を奪ってはならないと思いますし、その命に対して尊敬の念を持たなければいけないとも思います。生命倫理問題は、我々人間のとらえ方次第で変わっていくものであり、さらにそれによって医療の発展も大きく左右されてしまうのだとも感じました。



今回の講義で一番印象に残ったことは、「医学は人間のためにある」ということだ。お話の中にもあったように、マイクロアレイや次世代シーケンサーなど、世界の最先端ともいえる技術が、医学の分野で発展してきている。それにより、昔に比べて人間に関して多くのことが解明され、研究水準も上がっている。しかし、大切なことは、その知識をどう活かすか、どのように人のために役立てるか、ということであろう。どんなに素晴らしい技術があっても、それが人のためになっていなければ意味がない。ノーベル賞を受賞した山中教授の「私はまだ1人の患者さんも救っていない」という言葉が思い出された。

また、医師としての心構えについても考えさせられた。人の命を預かる職業である医師が、命を預かるということの本当の意味を、私は今まで理解していなかったように思う。治療をすることや、人を健康にすることが目的なのではなく、治療をしてどうするのか、健康にしてどうするのが大切なのだと感じた。病気ではなく、人を相手にする職業なのである。

かつて、世界では数多くの悲惨な人体実験が行われてきた。人権問題や差別問題が強く叫ばれるようになった現在、医学はまさに「人のために」あるべきである。そして、医学の担い手である医師は、その志を決して忘れてはいけないのだと思った。

昨年、京都大学の山中信弥教授がIPS細胞の発見でノーベル生理学医学賞を受賞し、再生医療がまた一步前進した。これによってヒトの体を構成するあらゆる細胞を体細胞から人工的に作れるようになった。これは体細胞を初期状態に戻すことができるということである。

初期状態の細胞はあらゆる細胞に分化できる。この特性を使えば、今まで治療できなかった病気やケガを治すことも夢ではない。しかし、それは生命倫理に関わる重要な問題も内包している。例えば、どんな細胞にも分化できるということは、人工卵子や人工精子をつくることができるということであり、人造人間やクローン人間がつくられてしまうということである。これは生命倫理に反する。講義の中でも出てきたが、医療のために人がいるのではなく、人のために医療がある。命をもてあそぶようなことは決して許されないし、それを防ぐためにも生命倫理を学ぶことが不可欠である。

医療の進歩の裏で多くの命が犠牲になってきたことを今回の講義で知った。今後このようなことが起こらないよう、医療従事者や研究者だけではなく、皆が生命倫理に基づき行動すべきだと思った。

コスモサイエンス I の日程が決定しました



いよいよコスモサイエンス I が本格的にはじまります。これから、様々な先生方の講義を聞いたり、大学等を訪問して実習を行ったりすることになります。講義・実習の後はレポートを提出してもらいますので、どの講義にも集中して取り組みましょう。今年は、最後にポスター発表会も予定されています。班のメンバーと協力して、良いポスターを仕上げましょう。



また、外部の先生方の講義や大学等訪問の際は**正装**となりますので注意して下さい。

	月日	曜日	講義内容	講 師
1	5月11日	土	「農学・生命科学入門」【講義】※希望者	渡辺 正夫 氏 (東北大学大学院生命科学研究所教授)
2	7月13日	土	北陸大学薬学部実習【講義・実習】※希望者	荒川 靖 氏 (北陸大学薬学部准教授) 他6名の先生方
3	10月11日	金	サイエンスツアー事前学習	
4	10月25日	金	サイエンスツアー事後学習①	
5	11月 1日	金	環境放射線の観察(霧箱の実験)【実習】	戸田 一郎 氏 (北陸電力エネルギー科学館サイエンス・プロデューサー)
6	11月15日	金	サイエンスツアー事後学習② ポスター発表の準備①	
7	11月16日	土	金沢大学理工学域研修【見学・講義】※希望者	金沢大学理工学域研究室スタッフの方々
8	12月 6日	金	電気泳動法によるDNAの分離・検出【実習】	中谷内 修 氏 (石川県立大学生物資源工学研究所助教)
9	1月10日	金	「宇宙を目指せ」【講義】	寺門 邦次 氏 (日本宇宙フォーラム参与)
10	1月17日	金	金沢大学医薬保健学域研修【見学・講義】	源 利成 氏 (金沢大学がん進展制御研究所教授) 三輪 高喜 氏 (金沢医科大学医学部教授)
11	1月24日	金	ポスター発表の準備②	
12	1月31日	金	中村留精密工業株式会社研修【見学・講義】	沢田 学 氏 (中村留精密工業株式会社常務取締役) 他社員の方々
13	2月 7日	金	スターリングエンジンの製作【実習】	加藤 聰 氏 (金沢工業大学教授)
14	2月14日	金	ポスター発表の準備③	
15	3月14日	金	コスモサイエンス I ポスター発表会	

■ は校外での講義・実習となります。また、講義内容は変更となる場合もあります。

スーパーサイエンス部 ロボットチーム ケーブルテレビに出演!



10月16日の水曜日に、金沢ケーブルテレビネットの「まちスタ530」熱血!部活・サークル応援団に本校スーパーサイエンス部ロボットチームが出演しました。1年理数科の赤澤秀斗君と出村賢聖君、そして1年普通科の西谷幸太郎君が、普段の活動の様子や春に行われたロボカップジュニアの全国大会の様子などについて熱く語ってきました。収録の様子は金沢ケーブルテレビネットのホームページ (<http://www.kanazawacatv.jp/>) や、YouTubeに期間限定で紹介されていますので、是非視聴してみてください!

11月の行事予定



- 11月 1日(金) コスモサイエンス I 特別講義 (対象:理数科1年生)
「環境放射線の観察(霧箱の実験)」
講師:戸田 一郎氏(北陸電力エネルギー科学館 サイエンス・プロデューサー)
- 11月16日(土) コスモサイエンス I 特別講義 (対象:普通科・理数科の1・2年生)
金沢大学理工学域研修
講師:金沢大学理工学域研究室スタッフの方々
- 11月20日(水) 人間科学特別講義 (対象:理数科1年生)
「免疫システムの素晴らしさ」
講師:谷内江 昭宏氏(金沢大学医薬保健学域教授)



《あとがき》後期に入り、コスモサイエンス I の予定やAIプロジェクトの原稿締め切り等が続きます。これからは部活動の新人戦もあり忙しい時期ですが、計画的に行動し、時間を有意義に使いましょう。

また、11月16日(土)EX終了後に開催予定の、金沢大学理工学域研修の参加者募集を近日中に開始します。興味のある人は積極的に参加して自らの見聞を広げましょう。